



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年2月12日

上場会社名 澁谷工業株式会社
 コード番号 6340 URL <http://www.shibuya.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 澁谷 弘利
 (氏名) 吉道 義明
 配当支払開始予定日

TEL 076-262-1201
 平成28年3月18日

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第2四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	34,628	△5.2	1,562	33.0	1,593	16.7	1,049	19.8
27年6月期第2四半期	36,538	14.2	1,174	△13.0	1,366	△20.0	876	△10.1

(注) 包括利益 28年6月期第2四半期 869百万円 (△25.6%) 27年6月期第2四半期 1,169百万円 (31.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第2四半期	37.94	—
27年6月期第2四半期	31.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年6月期第2四半期	91,193	43,573	47.8	1,574.51
27年6月期	92,014	42,983	46.7	1,553.06

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 43,565百万円 27年6月期 42,972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年6月期	—	10.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	5.7	4,550	△6.6	4,700	△7.5	3,220	△61.1	116.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期2Q	28,149,877 株	27年6月期	28,149,877 株
28年6月期2Q	480,620 株	27年6月期	480,391 株
28年6月期2Q	27,669,390 株	27年6月期2Q	27,669,815 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. その他	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境は緩やかな改善が続いているものの、中国をはじめとする新興国の景気減速や米国の利上げによる海外景気の下振れが懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は346億28百万円（前年同期比5.2%減）と減収となったものの、メカトロシステム事業および農業用設備事業の収益が改善したことから、営業利益は15億62百万円（前年同期比33.0%増）、経常利益は15億93百万円（前年同期比16.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億49百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（パッケージングプラント事業）

パッケージングプラント事業の売上高は、酒類用プラントおよび薬品・化粧品用プラントは前年同期に比べ増加したものの、食品用プラントは飲料用無菌充填ラインの納入が大きく減少したため前年同期に比べ大幅に減少しました。

その結果、連結売上高は195億47百万円（前年同期比14.2%減）と減収となり、営業利益は21億91百万円（前年同期比12.9%減）と減益となりました。

（メカトロシステム事業）

メカトロシステム事業の売上高は、医療機器は国内向けおよびアジア・欧州向けの販売が好調で前年同期に比べ大幅に増加したものの、半導体製造装置は韓国・台湾での設備投資抑制が強まり減少し、切断加工機においても微細加工用切断機が減少しました。

その結果、連結売上高は99億57百万円（前年同期比1.9%減）と微減となりましたが、損益面については、特に医療機器の生産体制が安定し操業度が向上した結果、営業利益は61百万円（前年同期は営業損失4億77百万円）と大幅に改善しました。

（農業用設備事業）

農業用設備事業の売上高は、蔬菜・果菜類向け選果選別プラントがほぼ倍増し、また落葉果樹類向けおよび柑橘類向け選果選別プラントについても大きく増加したことから、前年同期に比べ大きく伸長しました。

その結果、連結売上高は49億83百万円（前年同期比44.7%増）となり、損益面については、売上高の増加に伴い操業度が大きく向上した結果、営業利益は4億18百万円（前年同期比225.6%増）と大幅に増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億21百万円減少し、911億93百万円となりました。有利子負債については、前連結会計年度末に比べ20億87百万円増加し、137億64百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べ5億90百万円増加し435億73百万円となり、自己資本比率は47.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、21億86百万円の資金増加（前年同期は23億28百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が16億77百万円となり、たな卸資産の増加額36億27百万円および未払金及び未払費用の減少額25億35百万円による資金減少があったものの、非資金項目である減価償却費9億61百万円や売上債権の減少額62億67百万円による資金増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、12億79百万円の資金減少（前年同期は26億93百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が9億80百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、18億4百万円の資金増加（前年同期は16億41百万円の資金減少）となりました。これは主に、借入金が増加したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より26億83百万円増加し131億35百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年8月11日に公表した連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	90,000	5,500	5,600	3,820	138円06銭
今回修正予想 (B)	85,000	4,550	4,700	3,220	116円37銭
増減額 (B-A)	△5,000	△950	△900	△600	—
増減率 (%)	△5.6	△17.3	△16.1	△15.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年6月期)	80,430	4,870	5,082	8,286	299円46銭

売上高については、農業用設備事業は補正予算の決定等により伸長すると見込まれるものの、パッケージングプラント事業において中国経済の急激な減速により受注予定であった海外案件に延期が生じたこと、メカトロシステム事業において韓国および台湾での半導体関連の設備投資が減速したことから、前回予想に比べ5.6%減少の850億円に修正しております。

利益面については、売上高の減少に伴い固定費負担が高まることから、営業利益は45億50百万円、経常利益は47億円、当期純利益は32億20百万円と前回予想に比べ、それぞれ17.3%、16.1%、15.7%減少するものと見込んでおります。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。) および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得または売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,649	13,332
受取手形及び売掛金	31,449	25,168
製品	223	574
仕掛品	7,197	10,606
原材料及び貯蔵品	2,096	1,985
繰延税金資産	629	565
その他	2,190	1,443
貸倒引当金	△16	△12
流動資産合計	54,420	53,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,846	13,483
機械装置及び運搬具(純額)	2,030	1,983
土地	11,363	11,422
建設仮勘定	243	629
その他(純額)	1,061	968
有形固定資産合計	28,544	28,488
無形固定資産		
のれん	1,300	1,156
その他	211	209
無形固定資産合計	1,511	1,365
投資その他の資産		
投資有価証券	3,457	3,530
長期貸付金	13	11
退職給付に係る資産	3,313	3,384
繰延税金資産	58	62
その他	738	728
貸倒引当金	△42	△41
投資その他の資産合計	7,538	7,674
固定資産合計	37,594	37,528
資産合計	92,014	91,193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,979	19,697
短期借入金	4,282	3,890
未払法人税等	558	522
未払費用	4,932	2,451
賞与引当金	318	315
受注損失引当金	43	121
製品保証引当金	108	102
その他	4,458	3,747
流動負債合計	34,681	30,849
固定負債		
長期借入金	7,394	9,874
退職給付に係る負債	5,667	5,747
役員退職慰労引当金	293	305
繰延税金負債	759	654
その他	234	188
固定負債合計	14,349	16,769
負債合計	49,030	47,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,358	10,358
利益剰余金	21,732	22,505
自己株式	△433	△433
株主資本合計	43,049	43,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	449	255
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	76	57
退職給付に係る調整累計額	△603	△569
その他の包括利益累計額合計	△76	△256
非支配株主持分	11	8
純資産合計	42,983	43,573
負債純資産合計	92,014	91,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	36,538	34,628
売上原価	30,557	28,386
売上総利益	5,981	6,242
販売費及び一般管理費	4,806	4,679
営業利益	1,174	1,562
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	32	27
投資有価証券売却益	102	—
持分法による投資利益	2	2
固定資産賃貸料	35	11
為替差益	96	—
その他	82	95
営業外収益合計	357	143
営業外費用		
支払利息	83	62
手形売却損	3	8
租税公課	41	14
その他	37	28
営業外費用合計	165	112
経常利益	1,366	1,593
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	5	99
国庫補助金	77	—
移転補償金	103	—
特別利益合計	194	99
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産処分損	2	14
減損損失	207	—
その他	1	0
特別損失合計	212	15
税金等調整前四半期純利益	1,348	1,677
法人税、住民税及び事業税	421	603
法人税等調整額	42	24
法人税等合計	463	628
四半期純利益	884	1,049
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	876	1,049

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	884	1,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126	△193
繰延ヘッジ損益	7	△0
為替換算調整勘定	69	△18
退職給付に係る調整額	80	33
その他の包括利益合計	284	△179
四半期包括利益	1,169	869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,158	870
非支配株主に係る四半期包括利益	10	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,348	1,677
減価償却費	1,049	961
のれん償却額	147	143
減損損失	207	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△23
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	113	83
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△37	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20	△2
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	98	78
受取利息及び受取配当金	△38	△33
支払利息	83	62
持分法による投資損益 (△は益)	△2	△2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△107	△99
売上債権の増減額 (△は増加)	4,431	6,267
前受金の増減額 (△は減少)	874	△452
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,321	△3,627
仕入債務の増減額 (△は減少)	928	△271
前渡金の増減額 (△は増加)	△280	555
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△1,784	△2,535
未払又は未収消費税等の増減額	△176	△418
その他	406	493
小計	3,957	2,864
利息及び配当金の受取額	34	30
利息の支払額	△80	△56
法人税等の支払額	△1,582	△651
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,328	2,186
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△155	△148
定期預金の払戻による収入	153	148
投資有価証券の取得による支出	△486	△643
投資有価証券の売却による収入	865	388
有形固定資産の取得による支出	△3,085	△980
有形固定資産の売却による収入	12	0
無形固定資産の取得による支出	△35	△24
子会社株式の取得による支出	△3	—
補助金の受取額	77	—
その他	△36	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,693	△1,279

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,799	3,590
短期借入金の返済による支出	△4,040	△3,810
長期借入れによる収入	—	3,600
長期借入金の返済による支出	△1,115	△1,289
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△276	△276
その他	△7	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,641	1,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	△28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,863	2,683
現金及び現金同等物の期首残高	13,178	10,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,314	13,135

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パッケージ ングプラン ト事業	メカトロ システム 事業	農業用設 備事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,783	10,150	3,444	36,378	160	36,538	—	36,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	191	174	391	758	158	916	△916	—
計	22,975	10,324	3,835	37,136	318	37,455	△916	36,538
セグメント利益又は損 失(△)	2,517	△477	128	2,167	△18	2,149	△974	1,174

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△974百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△975百万円および棚卸資産等の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パッケージ ングプラン ト事業	メカトロ システム 事業	農業用設 備事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,547	9,957	4,983	34,488	139	34,628	—	34,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	452	175	372	1,000	174	1,174	△1,174	—
計	19,999	10,133	5,356	35,489	314	35,803	△1,174	34,628
セグメント利益又は損 失(△)	2,191	61	418	2,671	△22	2,648	△1,086	1,562

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,086百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,081百万円および棚卸資産等の調整額△4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

4. その他

受注の状況

① セグメント別の受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	26,289	25,137	△4.4
(酒類用プラント)	(2,009)	(1,314)	(△34.6)
(食品用プラント)	(17,914)	(16,455)	(△8.1)
(薬品・化粧品用プラント)	(5,655)	(6,011)	(+6.3)
(その他)	(709)	(1,355)	(+91.1)
メカトロシステム事業	11,864	8,338	△29.7
農業用設備事業	2,892	5,660	+95.7
その他の事業	149	150	+0.2
合 計	41,195	39,286	△4.6

② セグメント別の受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	30,528	29,530	△3.3
(酒類用プラント)	(1,760)	(1,030)	(△41.5)
(食品用プラント)	(19,539)	(20,356)	(+4.2)
(薬品・化粧品用プラント)	(8,700)	(7,207)	(△17.2)
(その他)	(527)	(936)	(+77.4)
メカトロシステム事業	10,808	11,057	+2.3
農業用設備事業	2,109	4,726	+124.1
その他の事業	74	387	+420.2
合 計	43,521	45,702	+5.0